

進路係より

岡山東支援学校は、
「体験をととした進路指導」を大切にしています！

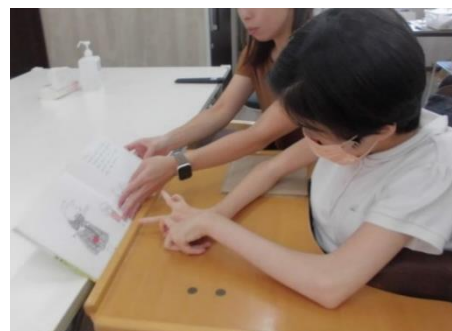
地域との連携による進路指導“産業現場における実習”とは？

高等部では、6月と10月の年2回、産業現場における実習を行っています。実際の就労の現場における体験をととして、進路先についての具体的なイメージを持ち、生徒の自己理解を深められるようにしています。

今号では、2学期の実習先から一般就労、就労継続支援B型事業所、生活介護事業所をそれぞれ紹介します。

生活介護事業所

- ・実習時間：10時～15時
- ・実習内容：朝のミーティング・箱折り・個別活動など
全員でラジオ体操や健康観察をした後、それぞれの個別の課題や箱折りの作業などに取り組みました。午後から、絵本を読んだり、カラオケをしたりしてスタッフや利用者さんとの交流することができました。スタッフさんに「〇〇さん、めくってください。」と絵本をめくってもらう依頼をすることができました。



スマイルクオ岡山 西之町

就労継続支援B型事業所

- ・実習時間：10時～15時
- ・実習内容：検品、袋詰め、伝票の確認、モルタルの植木鉢作り
商品の検品や袋詰めを行いました。お客様に安心・安全な商品を届けるために、丁寧に作業を行いました。また、モルタルを型に流し入れて作った鉢に多肉植物の寄せ植えを行いました。一つの製品を完成させる工程を通じて、働く喜びを感じることができました。実習では、「報告、連絡、相談」が大切であると気付くことができました。



リハスタイルぐんぐん

一般就労

- ・実習時間：11時～14時
- ・実習内容：食器の洗浄、食器の下膳、清掃など
お客様の食後の食器を下膳する仕事や食器を洗浄する仕事に取り組みました。特に、丼やお皿などの下洗いをしたり、食洗機にきれいに並べて入れたりするなどの洗浄の仕事を頑張りました。お店のスタッフのみなさんが親切に仕事内容を教えてくださり、様々な作業に挑戦することができました。また、接客の仕事なので、「いらっしゃいませ」等の声をしっかり出すことも心掛けました。



来来亭 東岡山店